



26

## 楽しく学べて、 元氣ハツラツの学校

住吉小学校

今回は、住吉小学校を紹介しします。

住吉小学校は、市の中心部である住吉町の住宅街にあります。創立は、明治34(1901)年と100年以上の歴史があり、目の前には、川開き祭りで孫兵衛船競漕の舞台にもなる、「母なる川」北上川が広がります。

7月1日現在の児童数は212人で、学級数はことばの教室などを含む12学級です。学区内には、かつて交通の主流が水路だった時代に発展した地区もあり、史跡なども多く残されています。



住吉小学校では、「子ども達が楽しく学ぶ」をテーマに、さまざまな取り組みが行われています。特に環境面に配慮して、学校の敷地内には、フジ、サクラ、マツ、スギ、カリン、プラタナス、クワなど多種多様な樹木が植栽されています。フジ棚のそばには人工的に作られた築山があり、花の生育状況などが間近で観察

できて、授業でも大いに活用されています。

更に、「ミニ北上川」と呼んでいる学校池でコイやフナ、カメを飼育するなど、動植物を身近に感じさせることで、楽しく学べる環境をつくっています。



また、カヌー体験やサケ漁体験などの活動も行い、校外の自然に触れることで自ら学び考え、積極的に行動できる力をはぐくんできます。

このほかにも、9年前から英語活動に取り組んでおり、ALT(外国語指導助手)のほか学級担任とJTE(日本人英語教師)も加わった3人体制による指導を行うなどして、学習効果を高めるなどの工夫もされています。

取材に訪れた日、校庭では、元氣ハツラツとした住小っ子達が、笑顔でサッカーや野球などを楽しんでいました。楽しく学び楽しく遊び、子ども達の笑顔は、ひときわ輝いて見えますね。

## にぎやか家族 34

北上町十三浜



左から、祐乃介くん、匡哉くん、涼平くん

### 《将来の夢》

佐藤	祐乃介	くん(11歳)	プロ野球選手
	涼平	くん(8歳)	プロ野球選手
	匡哉	くん(2歳)	くるま大好き! くるまやさん!

〈お母さんから〉

いつまでも兄弟仲良く、元気に素直に育ってね!

### 今月の表紙から

南三陸沿岸は、細かく入り組んだリアス式海岸となっていて、栄養が豊富で、潮の流れが良いため、魚介類や海藻類の宝庫です。ウニもその代表格で、ミネラルたっぷりの海水の中で、栄養豊富なワカメなどを食べて育っているの、甘さとコクが違います。種類は、ムラサキウニで、とげが黒くて長々、3〜4年で殻の直径が5センチくらいになり、身がぶくっつきとして食べごろになります。

今回は、7月上旬に、北上地区で民宿を営む武山亀之進さんを小湊漁港で取材しました。ウニ漁は、5月から8月いっぱいまで続き、夜明け前に漁に出て、6時ごろ水揚げします。海中を、箱めがねで探し、先の曲がった道具の「二本力ギ」でウニを引掛けます。

武山さんは「今年は、春先に水温が低かったため、実入りの時期が遅くなって



武山 亀之進 さん  
(北上町十三浜地区)

しまいました。このごろ、ようやく実も入り、甘みも増してきたようです。仕事は、民宿をしているので、夜遅く、朝早いというところがつらいけど、お客さんから料理がおいしいと言われたり、お客さんからの喜ぶ顔を見たり、きかると嬉しいですね」と笑顔で話していました。



長尾クリーン白馬会は、平成10年に「清掃作業を行って、自然に満ち溢れた長面浦を守ろう」という思いで活動を始めました。

主な活動は、毎年6月5日「環境の日」に地域全域の一斉清掃および長面浦に面した場所にある公衆トイレを3人1組の当番制で毎週2回清掃を行っています。

結成当初は地域の方々から「観光客な

# サークル仲間

なかま

(34)

## 風光明媚な長面浦をいつまでも

ながづらうら

長尾クリーン白馬会

今回は、河北地区の長尾クリーン白馬会の皆さんを紹介します。

どが汚れていったトイレや「ゴミを片付けるのはおかしいのではないか」などの意見もありました



が、今では、長面地区115世帯と尾の崎地区55世帯の全世帯が会員となり、清掃活動に取り組み、観光客から感謝の礼状が届くまでになりました。

また、結成10周年を迎えた今年、6月8日(日)に記念イベントが、河北農林漁業者トレーニングセンターの広場で行われ、秋田県羽後町の西馬音内盆踊り保存会の方々が、「西馬音内盆踊り(国指定重要無形民俗文化財)」を披露し、大変盛り上がりました。

今野会長さんは「とにかく地域の方々の協力があったここまで続けられた。今後とも美化活動を継続していきたい」と話していました。

# 長寿のひけつ



(27)

## 「家族円満とお茶つこのみ」が健康で長寿のひけつです

佐藤 すゑよさん(雄勝地区羽坂) 95歳  
今回は、笑顔がチャームिंगな佐藤すゑよさんをご紹介します。

すゑよさんは、大正元(1912)年12月、旧雄勝町羽坂で6人兄弟の3番目として生まれ、同地区に嫁ぎました。しかし、27歳のときにご主人を亡くし、海の仕事や畑仕事をして2人のお子さんを育てました。また、当時、ご主人のお父さんが町議会議員をしており、ご主人がいない中での嫁さんの務めも大変だったそうです。

そんなこともあつてか、政治には関心があり、特に、国会中継が大好きで欠かさず見えています。水戸黄門や大相撲を見るのも好きで、大相撲は、同居する息子さん夫婦に取り組み内容を解説してくれます。

晴れた日には、庭の草むしりや近所への散歩をして体を動かしています。家族が不在のときには、電話の内容もしっかりと伝言するなど留守番もしてくれます。

そんなすゑよさんに健康で長寿のひけつを聞くと、「日に三度決まった時間にごはんを食べ、誰でもお茶つこのみしてみんなの話を聞くこと。それに一番は家族円満なこと」と話し「同居している息子夫婦や、毎日、お茶つこのみしてく



れる近所の方々に感謝しています。私は幸せ者です」と話してくれました。こういう感謝の気持ちも長寿のひけつなのかもしれませんね。

お肌もツヤツヤで、とても95歳とは思えないすゑよさん、これからもお元気でかわいいおばあちゃんになってくださいね!